



糸魚川市駅北大火からの 復興にぎわいづくりに向けて

「若者・子育て世代が集いたくなる ヒトづくり、マチ
づくりのたまり場」からのにぎわい創出



平成30年3月

糸魚川市

駅北地区の歴史

交通の要所として昔から人がとどまる場所

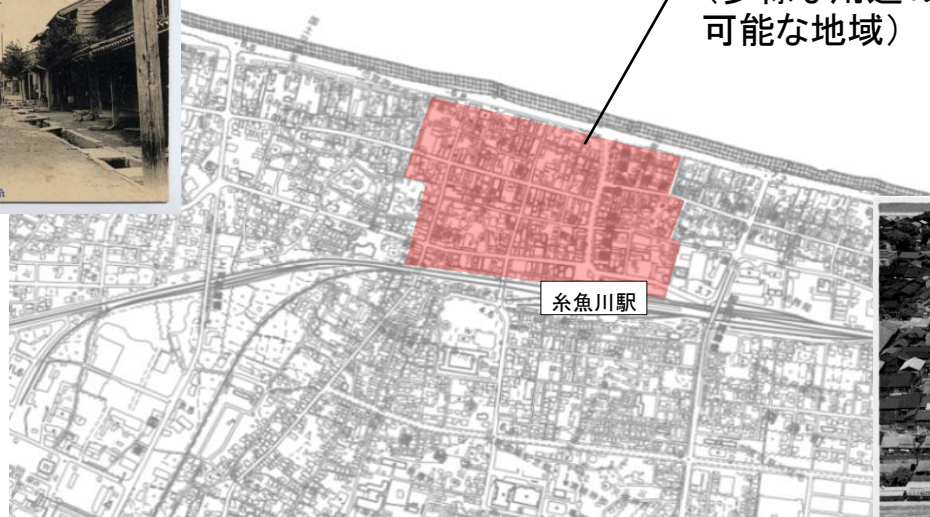
- ・東から来る人は、西に姫川、親不知という難所がありとどまる
- ・旧北陸道（加賀街道）と松本街道が交差する地
- ・西から来る人は、直江津までの移動に備えとどまる
- ・海岸は北前船の寄港地



人がとどまることで宿場ほかの店舗が建ち並び雁木も形成

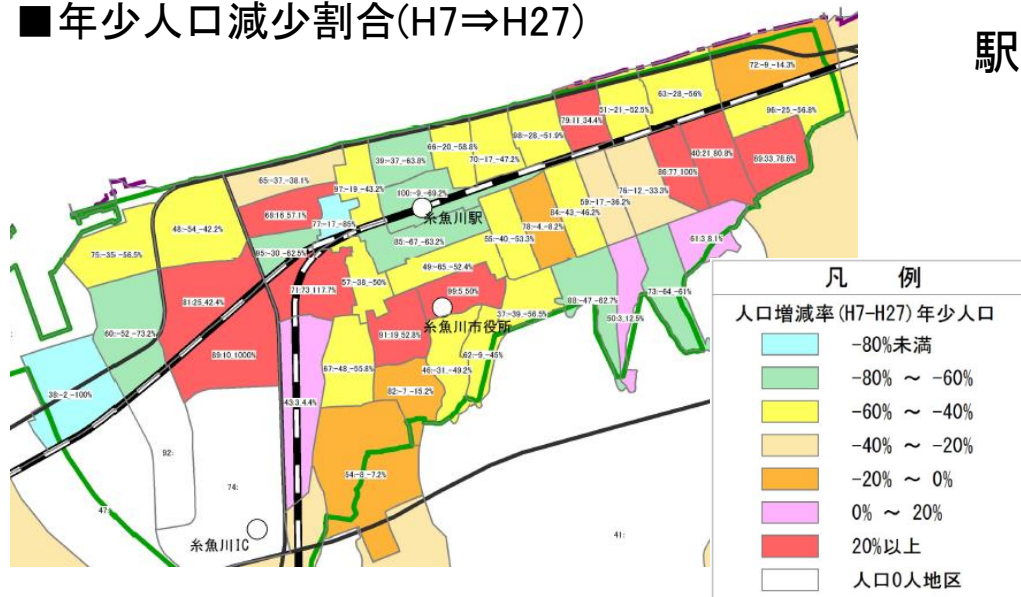


■現在も糸魚川地域唯一の商業地域
(多様な用途の店舗や事業所の立地が可能な地域)



駅北地区の現状と位置付け

■年少人口減少割合(H7⇒H27)



駅周辺ほど年少人口の減少割合が高い

人が減る



お店が減る



街がなくなってしまう！

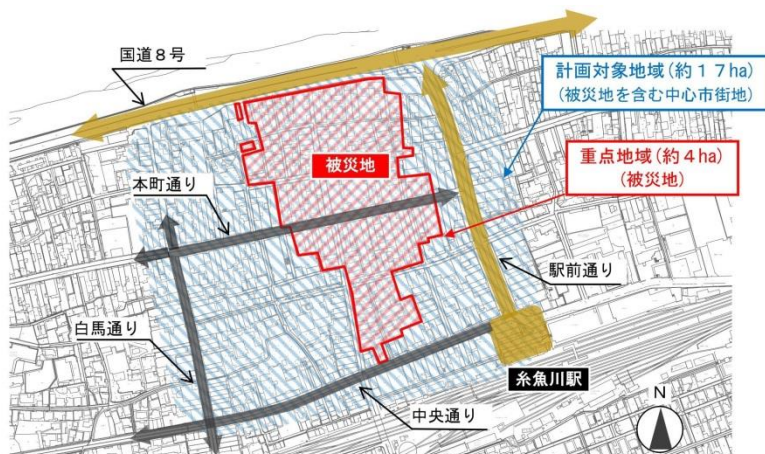
駅と国道8号に挟まれ交通の便が良い地域
すでに市街地として整備されている地域



市全体でも人口減少が進み
財政負担も増えることを考慮すると…

30年先も持続的に使い続け

残さなければならない大事な地域



30年先も持続するまちづくりを担う

「若者・子育て世代が集いたくなる ヒトづくり マチづくりのたまり場」 からにぎわいと活力の創出



◆にぎわいと活力の創出に向けて

人口減少の局面においても持続可能なにぎわいと活力を創出し、まちづくりのコンセプトを実現するためには、行政と民間の連携や既存の地域資源（ヒト・モノ・カネ）の最大化が重要

行政

民間

「若者・子育て世代が集いたくなるヒトづくり マチづくりのたまり場」

◆行政課題の解決に必要な機能

行政課題の解決に必要な機能。
駅北復興に関連させなくても、
設置を必要としている機能など。

◆賑わいをつくる行政機能

（場合によっては民間活用）

賑わいの創出が期待できる行政
機能。公民連携による民間活力
の活用を検討する。

◆賑わいに必要な民間機能

賑わいの創出が期待できる民間
機能。主体である民間事業者か
らの提案を募る。

駅北エリア

拠点施設

公民連携を軸とした
事業スキームも含め検討
（運営者 案）
・民間事業者
・商工会議所
・中間支援組織 等

ワークショップ等活用し、広く 市民の意見を聞き、コンセプト に沿った機能を検討

- ・拠点施設は採算性等を考慮し、必要な機能のみを集約・複合させる。
- ・空き店舗等活用の他、拠点施設も含めリノベーション活用を検討し、最小限の投資で最大限の賑わいの創出を目指す。

空き
店舗

空き地

空き家

コンセプト実現に必要な機能

子育て

子どもたちの健やかな
成長を支える

交 流

人々の交流をまちの
活性化につなげる

ビジネス

若者や女性の働く場
の創出を支援する

防災とにぎわい
の拠点施設

にぎわい創出広場
等の公共空間

既存資源(商店街、
空家・空店舗)

エリア全体でにぎわいを創出
(回遊性の実現)

・コンセプト実現のための機能例

行政

民間

子育て



■子育て支援センター



■一時預かり保育



■屋内遊具広場



■子育て世代向け住宅

交流



■ミニ図書館



■ミニシアター



■屋内軽運動場



■カフェスペース

ビジネス



■コワーキングスペース(※)



■ギャラリー・展示空間



■テナントショップ



■コンビニエンスストア

(※) 月極や時間制で、働く場所や設備を共有することで交流も生み出す場所。

【注】行政・民間の配置位置を含め写真はあくまでイメージです。